

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2020年1月6日 (月)

NO. 1027号

本号3頁

新潟県憲法会議主催 「憲法マイスター養成セミナー」大成功
一人一人の受講生に「憲法マイスター認定証」を授与
第6講座(第7章・財政 第8章・地方自治)を18名が受講

新潟県憲法会議主催の「憲法マイスター養成セミナー」の最終の第6講座(第7章・財政 第8章・地方自治)が12月22日、石崎誠也(元新大教授)講師で開催され、これまで最高の18名の受講生が参加しました。

「財政」問題では安倍政権の来年度予算案の「問題点」が指摘され、政教分離原則に基づく判例として「津地鎮祭訴訟」「愛媛玉串料訴訟」等の最高裁判決が説明されました。

また、「地方自治」問題では明治憲法での規定はないこと、地方自治の憲法的保障が1970年代以降に提起されてきた見解であることが述べられました。

自治体の国を訴える資格(出訴資格)の問題では「宝塚市パチンコ店規制条例事件」の最高裁判決の判例に基づいて、沖縄辺野古新基地建設をめぐる県と国との訴訟を考える課題が提起されました。

講座終了後、「憲法マイスター認定証」を授与

講座終了後、閉講式が行われ、セミナー長の成嶋隆憲法会議議長が「憲法は市民の日常生活に関わりがあり、平易な言葉で地道に語っていかねばならない。このセミナーは『憲法の語り部』を育てることを目的で開催した。憲法マイスターとして大いに語っていただきたい」と激励し、一人一人の受講生に「憲法マイスター認定証」を授与しました。



(写真 受講生を代表して授与を受ける山崎まささん)

(各講座の参加者数)

- ・第1講座(講師・成嶋) 17名
- ・第2講座(講師・金子) 11名
- ・第3講座(講師・土屋) 13名
- ・第4講座(講師・大澤) 15名
- ・第5講座(講師・土屋) 17名
- ・第6講座(講師・石崎) 18名

○6講座 皆勤賞6名 ○「受講日誌」全6講座提出者 3名(12/28現在)

「97条の『基本的人権の本質』条項が一番感動した」等と、受講生感想語る!

- 専門の講師から講義を受けて、夢のようでした。安倍改憲に反対していきたい。「自民党改憲案」前文の紹介が欲しかった。
- 9条は学んできたが前文は初めて読んだ。労組を組織することが大変。
- 建交労だが、忙しくて全講座参加できなかった。
- 憲法全文を学ぶ良い機会を与えて下さって感謝です。
- 多くの方は憲法を知らない。もっと知ってもらいたい。憲法を守る運動で頑張っていきたい。
- 新聞を読む時もセミナーで学んだことが参考になる。憲法のすばらしさを活かすためには黙ってはいけません。仲間を増やして声を出していきたい。
- 私は遊び人だが毎回の講座にはテキストを読んで参加した。講座に出るのが楽しかった。講師のレジュメも素晴らしかった。

- 毎日のニュースで日本が壊れていく事を心配。憲法を精神を生かして運動でがんばる。
- 憲法会議の「憲法カフェ」になかなか参加できず、系統的に学びたいとセミナーに参加した。97条の「基本的人権の本質」条項が一番感動した。
- 憲法の理解が弱く、選挙する人が多くない職場だが回りに話していきたい。第2回目を期待する。
- 皆さんとの繋がりができた。これからも学んで成長していきたい。
- 知らないことが多いことが分かった。日本国憲法も下で暮らせる有難みや安心感を感じる。国民のためになる運動で頑張る。
- 暇だから来ました。分からなかったが来てよかった。新鮮な気持ちで楽しくやれた。言葉が難しかった。優しいお顔の成嶋先生に質問したことがきっかけで全講座出席できた。
- 開かれた自治会にしていきたい。大学の先生とお付き合いができた。楽しかった。
- 50年運動してきたが、これほど学んだことは初めて。

IR 汚職、中国企業側は「提供」。

しかし、岩屋前防衛相は現金受領否定

えっ、まさか前防衛大臣も登場とは・・・。腐りきった安倍政権の実態が次々と明らかになって来ました。そして、大阪で IR 事業を推進する維新の会からは、下地幹郎氏が登場しました。

報道によりますと、東京地検特捜部が昨年末、贈賄容疑で逮捕された中国企業「500 ドットコム」側から現金 100 万円を受け取ったとされる衆院議員 5 人から任意聴取していたことが 3 日分かったとしています。そして、特捜部は秘書が受け取った可能性も含めて、違法性のある資金提供がないか慎重に調べているとも。

贈賄容疑で逮捕されたのは「500 社」元顧問、紺野昌彦、元顧問の仲里勝憲、日本法人元役員の鄭希の 3 容疑者。2018 年 9 月、IR 担当の内閣府副大臣だった衆院議員、秋元司容疑者に、IR 事業で便宜を受けたいとの趣旨で現金 300 万円を渡したなどの疑いが持たれています。

そして、他に現金を受け取ったとされるのは、中村裕之氏＝自民、船橋利実氏＝自民、岩屋毅氏＝自民、宮崎政久氏＝自民、下地幹郎氏＝維新の会と報道されています。

仲里容疑者が特捜部の調べに対し、秋元容疑者の他に「5 人に現金 100 万円ずつ渡した」と供述し、電子データ上のメモも押収。特捜部は昨年末、5 人から任意聴取し、複数の議員が資金提供を認めたと報道されています。

その衆院議員 5 人のうち、自民党の岩屋毅前防衛相が 4 日、記者会見し「金銭を受け取った事実は断じてない」と話しました。同様に、中村裕之元文部科学政務官も同日、北海道余市町で報道陣の取材に現金受領を否定しました。日本維新の会の下地幹郎元郵政民営化担当相は、「2 年半前のことなので覚えていない」としています。

共産党志位氏、追及に意欲示す。また、与党内からも!

共産党の志位和夫委員長は 4 日午前の「党旗びらき」でのあいさつで、政府が進めるカジノを含む統合型リゾート施設（IR）事業をめぐる疑惑や安倍首相主催の「桜を見る会」の追及に意欲を示しました。「野党は通常国会の冒頭から徹底追及することを確認している。力を合わせて真実を明らかにし、首相に今度こそ引導を渡そう」と強調しました。

また、自民党の石破茂元幹事長は 1 日、鳥取市内で記者会見し、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）事業に絡む汚職事件に関し、「政党制に疑問を持つ方も出てきかねない。国会審議を通じて明らかにすべきことは明らかにしていかなければならない」と述べました。



「アベ政治を許さない」ポスターを掲げ

安倍政権倒す決意新たに 3の日行動

「アベ政治を許さない」ポスターを一斉に掲げる行動が3日、全国各地で取り组まれました。国会正門前には、350人が集まり、澄み渡った空の下、「今年こそ安倍政治を終わらせよう」と決意を新たにしました。

行動を呼びかけている作家の澤地久枝さんのほか、作家の渡辺一枝さん、落合恵子さん、コメディアンの松元ヒロさんらが参加しました。

澤地さんは、政府が自衛隊の中東派兵を決定したことに関して「自衛隊が海外へ本格的に出ていく。これで何かがあれば日本はたちまち憲法など無視して戦争の方に行きかねないと思います。本当に極めて危ない、ぎりぎりのところまで来ています。わたくしたちの気持ちを無視しようとする安倍政治を私は許すことができません」と述べました。

参加した70代の女性は「安倍政治を早く終わらせたい。憲法9条を絶対を守るためにできることをやり切りたい」と力を込めました。また、埼玉から参加した男性は「うそばかりで、市民いじめ、戦争へと進もうとする安倍政治はいいかげんにしてほしい。安倍政治を倒すため、野党は市民の側に依拠し、頑張る共闘してほしい」と語りました。



岩手では国民民主、立憲民主、共産党の3党で、「アベ政治を許さない」宣伝

岩手県革新懇が3日に盛岡市で行った新年初の「アベ政治を許さない」宣伝を行い、国民民主党の木戸口英司参院議員（野党統一）と立憲民主党県連合の中村起子幹事長が、加藤辰男共同代表や日本共産党県委員会の斉藤信副委員長とともにマイクを握り、訴えました。

木戸口氏は、昨年の臨時国会で「桜を見る会」疑惑を徹底的に追及してきたと報告し、「解散・総選挙に追い込んで岩手から政治を変えよう」と力説。中村氏はカジノ汚職などを批判し、国を壊す安倍政治からの転換を訴えました。

斉藤氏は、昨年の参院選や知事選の勝利で岩手では市民と野党の共闘が大きく発展したと強調。安倍政権に代わる野党連合政権の実現へ向けての決意を述べました。

国民民主の横沢高德参院議員（野党統一）の連帯メッセージが紹介されました。

参加者らは「『桜』とカジノ疑惑許さない！」と書いた横断幕を持ち、9条改憲阻止のビラを配りました。

1・19 国会議員会館前行動

毎月19日行動

1月19日 日 14:00 ~
第2議員会館前を中心に

